

# 半田市新水道ビジョン（案）概要版



## I 水道事業の概要

### 水道事業の沿革・水源

本市の水道事業は、昭和4年2月に創設の認可を受け、昭和5年7月に通水を開始し、これまで5期にわたる拡張事業を実施しています。平成9年度までは、一部自己水源による浄水・配水を行っていましたが、現在は全て県営水道から受水し、市内へ配水しています。県営水道は、平成6年の大渇水を経て、平成10年4月に飲み水の水源が長良川に切り替えられました。



昭和5年 第1水源（旧星崎浄水場）



昭和5年 雁宿配水池（雁宿公園内）

## II 計画の概要

### 計画策定の目的・背景

「半田市新水道ビジョン（令和3年3月）」の策定から5年目の中間期を迎えることから、これまでの進捗状況などを示すとともに、近年、日本の水道事業を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、国が示している基本理念である「安全」、「強靱」、「持続」を具現化するため、今後の目指すべき方向性やその実現に向けての方策について見直しを図るものです。

### 計画期間

令和3年度～令和12年度

## III 基本理念と施策目標

将来に向けて新たな課題を整理し、更なる水道事業の運営基盤強化を図るために、現行水道ビジョンの基本理念・施策目標を踏襲していきます。

### 基本理念

『安心・安全な水をいつでも、どこでも、いつまでも』

### 施策目標

《安全》安全な水の供給

《強靱》災害に強くしなやかな水道の構築

《持続》持続可能な水道事業の実現

## IV 水道事業の現状と課題

### 水道施設の状況

本市の配水施設は、砂谷、深谷、北部の3配水場があります。また、増圧施設は、砂谷・深谷配水池系統に1増圧ポンプ場、北部配水池系統に2増圧ポンプ場があります。これまで南海トラフなどを震源とする大規模地震等の被災時に二次災害の防止とライフラインの確保を目的として、配水池の耐震補強や再構築、基幹管路の耐震化を進めてきましたが、現在は老朽施設の更新・再構築を併せて実施しています。

### 経営の状況

本市の水道事業は、合理的かつ効果的な経営を行うため、業務の効率化や一部業務の民間委託、広域化の推進による費用の削減を行い、健全な事業経営に努めています。



※R2:新型コロナウイルス感染症対策として、6か月間の基本料金減免を実施

※R4:物価高騰に係る生活支援対策として、4か月間の基本料金減免を実施

### 課題（一部抜粋）

- ・安全かつ衛生的な水質の確保
- ・DXの導入や広域連携等による事務の効率化
- ・新たな基準による各配水池の耐震性能の確認
- ・上下水道耐震化計画に基づく基幹管路や重要給水施設管路の耐震化
- ・施設台帳の一元管理や有効活用
- ・老朽施設更新に伴う事業費の確保
- ・水需要の動向を見極めた施設運用方法の検討
- ・バルブ操作や会計処理等の技術継承 など

## V 具体的な施策内容

### 今後の課題

- 安全かつ衛生的な水質の確保
- 感染症の予防と対策
- 被災時の水源確保

- 施設・管路の耐震化
- 重要給水施設管路の耐震化
- 災害時の対応訓練
- 上下水道の連携

- 施設の維持管理
- 施設の改築・更新
- 施設運用の効率化
- 業務の効率化
- 技術の継承
- お客さまニーズの反映
- 資材の適切な管理
- 民間の有効活用
- DXの推進
- 水道事業のPR活動

新水道ビジョン	
施策目標	具体的な施策内容
【安全】 安全な水の供給	直結給水方式の推進
	受水槽管理者への指導
	安定した水源の確保
	感染症の予防と対策
	水源域の保全
	水質事故マニュアルの作成【新規】
【強靱】 災害に強くしなやかな水道の構築	配水池の耐震化【追加】
	基幹管路の耐震化
	重要な給水施設への管路の耐震化【追加】
	災害時の対応訓練【追加】
	上下水道の連携【新規】
【持続】 持続可能な水道事業の実現	資産の適切な管理の推進【追加】
	水道施設の計画的な改築・更新【追加】
	有収率の向上
	増圧配水区域の縮小【追加】
	民間活力の活用
	お客様サービスの向上
	適正な水道料金の設定
	収納率の向上
	資金の効率的運用
	遊休施設・土地の有効活用
	広域的な連携の推進【追加】
	技術の継承【追加】
	指定給水工事業業者の技能向上
	DXの推進【新規】
	再生可能エネルギーの有効活用
	水道事業に関するPR活動の実施

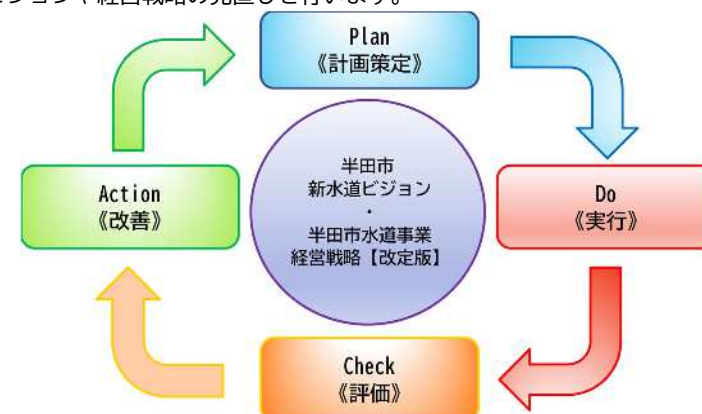
※【新規】新たな課題を設定したもの

※【追加】当初の課題に新たな施策内容を追加したもの

## VI フォローアップ

### 計画の推進に向けて

方策の進捗状況については社会・経済情勢の変化を踏まえた上で、毎年確認、改善の検討を行い、今後も継続して市ホームページでお知らせしていきます。また、PDCA サイクルに基づいたフォローアップを定期的に行い、施策・事業の実施と健全経営の継続を確実なものとするため、5年ごとに必要に応じてビジョンや経営戦略の見直しを行います。



『砂谷配水池』



『深谷配水池』



『北部配水池』

半田市新水道ビジョンの詳細について市のホームページで閲覧できます。  
《連絡先：半田市上水道課 0569-84-0682》

